

HTB開局55周年記念映画「奇跡の子 夢野に舞う」 製作スタッフ一同に社長賞

2024年10月1日（火）

ドキュメンタリー映画製作の道しるべにもなった不断の努力と栄誉を称え、HTB開局55周年記念映画「奇跡の子 夢野に舞う」製作スタッフ一同に社長賞が贈られました。7年にも及ぶ取材で得た膨大かつ貴重な映像を編集した当社初の映画化にあたっては、企業からの協賛金や国の助成金、入場収入も含めてリクープを上回りました。ビジネスとしても実績を残し、製販連携の模範ともなりました。2024年1月より北海道先行上映が始まり、2月には東京、その後も全国主要都市で公開され、今なお上映エリアを広げつつあります。地域の課題に寄り添った今作品は、文部科学省選定作品、環境省推薦作品に指定されるなど、今後も長く多くの人々に鑑賞されるローカルコンテンツ戦略の有効な新たな取り組みとなっています。

沼田博光監督（報道部）

映画製作という新しい映像表現への試みでしたが、スタッフがそれぞれの持ち場でチャレンジし、その結晶として素晴らしい作品を形にすることができたと思います。周りで支え協力していただいたみなさんに、そしてこのようなチャンスを与え、その成果を称えてくれるHTBに、製作スタッフ一同、心より感謝申し上げます。今回得た多くの知見を共有し、さらに前へ進む若手のみなさんの参考になればと思っています。



左から 笹崎寛幸さん(MAZE)、坂本英樹さん(社会情報部)、長谷川卓也さん(ビジービー)、上田佑樹さん(映像コンテンツ部)、寺内達郎社長、小山康範さん(映像コンテンツ部)、沼田博光さん(報道部)、石田優行さん(映像コンテンツ部)、堀江克則監査役